

中国デザイン専門学校
学校自己評価報告書
総括公表版
(2023年度)

2024年5月

学校法人第一平田学園
中国デザイン専門学校

令和6年5月1日
学校法人第一平田学園
中国デザイン専門学校
校長 長船 圭二

学校自己評価の公表について

(総括)

1.当校における学校自己評価の取り組みについて

平成19年度に学校教育法施行規則が改正となり、専門学校による学校自己評価の実施、公開義務化されました。学校法人第一平田学園中国デザイン専門学校は学校法人・専門学校が果たすべき社会的責任として、学校自己評価を重要なものと認識し、平成21年度より組織的取り組みに着手しました。令和5年度においても、同じく学校自己評価を実施しましたので、ここにその結果を公表いたします。

学校自己評価報告記載担当者

平田 眞一（学校法人第一平田学園 理事長）
長船 圭二（中国デザイン専門学校 校長）
戸田 陽子（法人事務局長）
平田 真代（総務課 課長）
花田 洋通（教務課 課長）
長船 圭二（兼:広報課 課長）
秋岡 昌彦（防災管理担当者）

2.令和5年度学校自己評価の結果について

本校は、教育基本法及び学校教育法の趣旨にのっとり、デザイン関連分野に関する専門的学術を教授し、その技術を修得させると共に、時代の変化・多様性に適合し、広く社会に貢献できる人物の育成を目的とし、日々教育活動をおこないます。その為にも教育課程編成委員会を定期開催し、学外業界情報を定期的に取得し、学科ごとの人材教育到達目標を定めています。今後、18歳人口がさらに減少する中で、職業教育活動の新たな取り組みを創造し、社会から求められる教育現場になり続けるよう教職員全員が同じビジョンで取り組みます。

3.評価項目の達成及び取組状況

進捗具合の数値は、6段階評価の点検小項目進捗具合を平均した数値を示しています。また、()内の数字は 昨年度の値です。

※5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

(1)教育理念・目的

進捗具合:3.2 (3.2)	特記事項:職業実践専門課程認定(4学科)
----------------	----------------------

信頼度の高い総合デザイン専門学校の確立をかかげ、その具体目標「教育指針」「学生指導」「育成する人材像」の実現をめざしています。その目標実現のためにも、非常勤講師を含む講師全体会、講師分科会を前後期ごとに定期開催しています。合わせて企画会議、職員会議等を通じて教育理念と学校中期計画を掲げ、教職員全体と共有することができています。在学生に対しては全在学生へ便覧を配布し、キャリア教育方針を共有することができています。

「デザイン教育の新たな創造」をテーマに、多様化する社会に向けた柔軟な教育現場を作り上げることが今後、大きな取り組み事項となることを全教職員に共有いたします。

教育現場のDX化、教職員のデジタルリテラシー教育、AI教育などへ積極的に取り組むことが必要であり、今後の課題となります。

(2)学校運営

進捗具合:3.4 (3.3)	特記事項:学内ネットワークシステム利用・情報公開
----------------	--------------------------

学校運営では本学園の外部関係理事を複数配置し、事業報告書及び事業計画書を提出し、意思決定をおこないます。また、学園組織図及び教職員組織図を持って、意思決定プロセスを必要に応じて細かくルート化することができています。

総務課、教務課、広報課毎に年間計画書を作成し、月間報告、中間報告、年間報告を実施することができています。学内ネットワークシステムを導入しデジタル申請やネットワーク上での採決などの効率化に取り組むことができています。

教職員採用時は人事委員会を通じて、適切に採決が行われています。また学校情報に関しては学校基本調査、学校報告表を通じて適切に申請を行っております。

今後は学内ネットワークシステムの利用枠拡大及び、情報データベースの一元化やシステム管理をより効率よく活用できるよう、学内共有がさらに必要となっています。

(3) 教育活動

進捗具合:3.3 (3.3)	特記事項:教育課程編成委員会・関係者アンケート
----------------	-------------------------

専門的な知識・技能・能力を修得すると同時に社会人としての基礎を身につけられるように、挑戦・努力・継続を学習目標としています。教育課程編成委員会での外部委員の意見を主に、カリキュラム編成会議を年間通じて定期開催しています。また、前期と後期に学生・保護者アンケートを実施し、学年、学科、専攻ごとに就学に関わる情報を取得しています。様々な情報を集約し、社会に求められる職業技術を身につけられるカリキュラム開発に取り組んでいます。IT 技術、通信技術、3D 技術、AI 技術などの技術革新が続く社会に対して、働き方の姿勢や先進技術の教育に取り組むことが本校課題となります。デザイン特有のアナログ表現と現代のデジタル技術の教育を両立させたハイブリッド教育を確立させることも合わせて検討課題として挙げられます。

授業シラバス制作を全てデータ化し作成していますが、データ管理及びシステム運営の不安定さが見受けられるため今後の課題として改善取り組みが必要となっています。

本校では全教員立会いのもと、成績判定会議を開催しています。取得単位数が少ない在校生や成績不振者に対する対応も教員間で共有し対応します。

新任教員に向けたインストラクションスキル研修等の教授力向上のための研修会を定期実施できていないため、授業担当者に向けた研修実施が課題となります。

(4) 教育成果

進捗具合:3.7 (3.5)	特記事項:CtoC System・インターンシップ
----------------	---------------------------

本校では職員会議、教員ミーティングを通じて、月間就職活動状況を教職員全体で把握しています。特に地元就職志向が強い傾向を把握しており、県内就職先を常に開拓し続けています。デザイン関連企業へ就職を斡旋するため、本校独自の就職支援システム「CtoC System」を活用しています。在学生に対して各種デザイン企業との交流会、就職説明会を実施し、できる限り希望職への就職を斡旋していますが、学科により十分な成果が見えていないところもあります。今後はカリキュラム内にアクティブラーニングをさらに導入し、主体的に様々な活動ができるよう「自ら考え行動する力」を発揮する場面を設定することが必要と考えています。

長年にわたりデザイン教育を続けたことにより、業界で活躍している卒業生は多いです。また、異業種交流会やインターンシップなどを通じて、卒業生の活動を把握することができています。合わせて同窓会執行部を通じて卒業生調査を毎年実施していますが回収率は低いため今後の改善課題となります。資格取得率が目標数値より低い場合があり、学習者の意欲向上と合わせてカリキュラムプランの見直し、新しい資格検定の取り組みを開拓することが今後の課題となります。

(5) 学生支援

進捗具合:3.4 (3.3)	特記事項:CtoC System・就職ガイダンス・担任制
----------------	------------------------------

本校では全ての在学生在が所属するクラスに担任制を用いて、学生対応を実施しています。多人数学科に関しては2クラス制にし、それぞれに担任を配置しています。個々の特性を把握するために入学後に適正判断テストを実施し、専門家を通じて、在校生の特性を担任を中心に把握できるシステムを構築しています。

就職支援では学年に合わせた就職ガイダンスを実施し、合わせて本校独自の就職支援システム CtoC System を活用して、企業と学生がつながり合うことができています。また、各科在学期間中にインターンシップを実施しています。今後は修学年数が違う学科毎の就職支援方法を細分化し、その特性に合わせた指導を積極的に取り組むことを目指していきます。

本校では各種奨学金制度や各種授業料減免制度の案内を適切におこなっています。各種制度の整備は進んでいますが、希望者の申請書類の準備不足などもあり手続き未完の在在学生もいますので、さらに密な事務連絡を取れるようにすることが課題となります。

現在は積極的に留学生の受け入れをおこなってはいません。今後、留学生のデザイン教育のニーズの高まりなど時代変化に合わせて、本校の留学生制度を整備することも課題となっています。

(6) 教育環境

進捗具合:3.2 (3.2)	特記事項:防災研修・防災訓練・備品調査
----------------	---------------------

施設、設備に関しては現在のカリキュラムに対して対応できるように整備されています。学校設立より長きにわたるため新旧の校舎や備品が混在しています。今後は IT・AI・3DCG などのデジタル関連の授業が多様化するため、新たなカリキュラム設計を早期に計画し、その内容に合わせた設備改修が本校の課題とされています。それに対応するために令和5年に新館を設置し、新たな実習館として稼働することができています。

防災体制については防災計画書を作成更新し、また教職員、在學生全員を対象に防災研修及び防災訓練を実施しています。様々な防災を想定した防災知識をさらに深めていくことが今後継続的に必要とされています。

欧州海外研修計画を立て、専門課程の学生を対象にグローバルなデザイン教育の場を開拓しています。年度によって渡航費などの大きな変動があるため、今後は安定した実施計画を確立し、さらに中期的な海外デザイン教育へ発展させていくことが課題となっています。

(7) 学生の募集と受け入れ

進捗具合:3.8 (3.8)	特記事項:オープンキャンパス・公式 Web サイト・SNS
----------------	-------------------------------

本校は専修学校振興会に属し、募集活動全般において法令順守し活動しています。現在の学生募集においては、案内文書等以外に Web サイト、ソーシャルネットワークシステムを利用し、若年層への認識、理解度の向上に努めています。広報担当者を常時配置し、各種問い合わせ等に随時対応できる体制を整えています。年間計画書を年度始めに作成し、教職員へ共有し業務内容等を把握することができています。

全入学選考では入試判定会議を開催いたします。入学判定においても学園代表者・学校代表者・学科代表者・入試担当者と複数名の判定委員と協議し、適切かつ公平に入学選考をおこなうことができています。本校ではインターネット出願を導入し、出願者データを蓄積しながらタイムリーに各部署との連動につながっています。

学科、専攻が複数あるため入学者数のばらつきがあり、学科によって入学定員数を満たすことができていません。少子化傾向がさらに進む中で、デザイン教育の必要性を広く若年層にも理解していただくことに力を入れ、入学定員数を満たすことが本校の大きな課題となっています。その為にも、ステークホルダーへもデザイン教育の理解を求めることや、資格取得数、就職率の向上も大きく募集につながるとの再認識が必要です。

(8) 財務

進捗具合:3.9 (3.8)	特記事項:財務諸表・情報公開
----------------	----------------

本校では理事会・評議会を開催し、事業計画及び予算計画、決算報告をおこなっています。それにともない、学園監事、公認会計士より会計監査も適切に受けています。学生総数は前年度より減少したことと合わせて物価、光熱費等の高騰により支出が増える状況となりました。そのため概ね計画通りに執行していますが、一部予算を超えることもありました。

今後も少子化傾向が続く見込みであり、収益環境もより厳しくなると考えられ、なお一層の努力が必要となります。

(9) 法令等の遵守

進捗具合:3.7 (3.6)	特記事項:自己点検・自己評価報告書・情報公開
----------------	------------------------

本校では専修学校設置基準等に準拠し、適正な学校運営をおこなっています。また、個人情報保護方針、個人情報保護管理規程、委託先管理規程、個人情報の保護に関する同意文書等個人情報保護に関わる書類一式を作成し在学生、保護者への理解に努めています。

自己点検・自己評価を実施し、問題点の洗い出しを行っています。その報告書等は本校 Web サイトへ公開をしています。今後は自己点検・自己評価の見直しと高度化に取り組むことが課題となります。

(10) 社会貢献

進捗具合:4.0(4.0)	特記事項:CtoC System・講師派遣
---------------	-----------------------

本校では初等教育・中等教育機関における「キャリア教育」へ積極的に参加しています。高等学校への専門家派遣(講師派遣)や、岡山キャリアスタートウィークでの中学生職場体験受け入れ、早期のデザイン職業理解に努めています。地域との連携強化のため CtoCsystem を通じて、産学連携事業の推進活動を継続的に実施しています。

今後は中学校教員、高等学校教員向けのデザイン関連セミナーや講座を開講し、中等教育現場で活かせるような場面づくりにも努めていきます。

4.総括及び次年度に向けて

令和5年度の自己点検・自己評価では前年度より大きく評価が下がる項目はありませんでした。ただし、各小項目の進捗も大きな進展も多くは見られませんでした。今後は各基準の中でも向上が必要な項目を選出し、これからの時代性や多様性に合わせて改善をおこないます。

安定した学校経営とデザイン教育の提供のため、「新しいデザイン教育の創造」をテーマとし、多様性の時代、新しい職業観とマッチした学校運営体制を目指して、関係者全員にて努めて参ります。

以上